

あなたが “いのちの主人公” からだの責任者”

①伝えたいことは
メモして準備して



②対話の始まりは
あいさつから



③よりよい関係づくりは
あなたと共に

④自覚症状と病歴は
あなたからの大切な情報



⑤これからの見通しを
聞きましょう

⑥その後の変化も
伝える努力を



⑦大事なことは
メモをとって確認

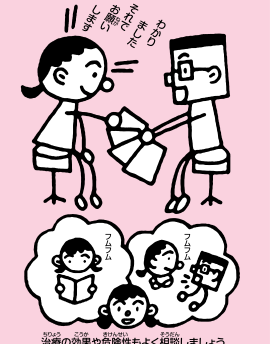
⑧納得できないときは
何度でも質問を



⑨医療にも不確実なことや
限界がある



⑩治療方法を決めるのは
あなたです



平成18年度の診療報酬改正で「医療安全対策加算」が急性期病院に認められました。当院でも医療安全管理者が専任となり、病院内の安全管理をしています。

業務内容として、医療事故の対応や患者さまに安全な医療が提供できるようにスタッフからヒヤリハット報告書を提出してもらい、一つ一つを検討し対策を院内に周知します。また、患者相談窓口も行っていきます。

医療機関では、皆さんが安心して安全な医療を受けられるように日々努力しています。しかし私達医療者も「人」は誰も完全ではありません。まれであつても起こりうるエラーを防ぐ機会を作ることが必要なのです。事故防止・安全管理は総力戦と言われています。

市民のみなさまや患者さま・ご家族の方にもご理解を頂き、治療を行うチームの一員となつてご自身の安全に参加して頂きたいと思ひます。

「あなたの安全を守る10か条」に協力下さい。
(医者にかかる10か条及び医療事故から身を守るための20の助言より引用)

こんなことがありました

「鈴木さん」とお呼びしたら、「はい」と『山田さん』から返事が返ってきました。

- 呼ばれたのは本当に自分の名前?
→復唱 「はい、〇〇〇〇です」
- チョッと変だなと思ったら...
→確認 「もう一度、教えてください」



1 病院内の医療安全管理室を
ご存知ですか?

2 患者さまと一緒に築く
医療安全って何?



3 患者さまに
お願いしたいこと!

院内ではお名前を名乗ってください。
採血やレントゲン撮影時、入院中に点滴をする前や薬を飲む時、手術室に入る時など患者さまにお名前を名乗って頂いています。